

# 遠賀川と人と

## 遠賀川流域だより

第 10号  
平成21年7月

坂本 榮治氏

特定非営利活動法人

直方川づくりの会副理事長

おめでとうございます

河川功労賞

本年5月、元近畿大学産業理工学部教授で、特定非営利活動法人直方川づくりの会副理事長の坂本榮治さんが、社団法人「日本河川協会」から、遠賀川において旧産炭地の赤水対策として、水質浄化の研



究・開発を行うなど、河川環境の整備保全に貢献されたことが高く評価されて、河川功労賞を受賞されました。

坂本さんは「遠賀川は遠賀川流域の市町村や北九州市の水源として重要な役割を担っているにもかかわらず、九州でも最も水質が悪い状態。また、抗内水など、旧産炭地の影響を受けているために、日本の平均的な河川と比較して特異な水質になっている」として、いたる所から湧き出ている赤水の対策研究に取り組まれてきました。

また、同大学で四十年にわたり教育者として、大学の

みならず、行政や企業・地域住民に遠賀川のこと、地域の環境教育など幅広く支援いただき、人々に慕われてきています。

来年は古希を迎えられます。ますますお元気で、地域の大人や子どもにいたるまでいろいろなことを教えていただきたいと願っています。

最近、坂本さんは「竜王・山・里・水の会、建花寺川を考える会」のみなさんと共に、飯塚市二瀬を流れる建花寺川をきれいにする取り組みも始められています。



家庭排水の汚染が見られる建花寺川の様子。



「鮭の赤ちゃんは4年後に川に帰ってきます。川をみんなできれいにしましょう」と保育園児にやさしく話しかけられました。

# 下流にゴミは流さない！ 春の遠賀川一斉清掃活動・各地で開催



飯塚市



中間市



直方市



小竹町



遠賀川水系水質汚濁防止連絡協議会（事務局・国土交通省遠賀川河川事務所）は、5月11日から6月10日までを「春の遠賀川一斉清掃月間」とし、期間中の5月30日（ゴミゼロ）を「遠賀川ゴミゼロの日」としました。毎年、洪水の後に河口堰や海岸にはたくさんのゴミがたまりまます。ゴミを少しでも下流に流さないようにと、同協議会の呼びかけで流域の自治体や住民の方々延べ一万五千人が清掃活動を行いました。回収したゴミはおよそ五十五トン、二百二十立方メートルに達し、これは家庭の浴槽で千百杯分にあたります。

来年度以降も同時期に、協議会各関係機関と協力して清掃活動に取り組みとともに、さらに活動の輪を広げ、流域の住民や河川愛護団体との連携を深め、遠賀川をきれいにしていきたいと考えています。

皆さんも河川の清掃活動に参加してみませんか？

今回実施した内容の詳細については遠賀川河川事務所HP記者発表資料 又は 遠賀川河川事務所 河川環境課（連絡先は最終ページに記載）までお問い合わせ下さい

## タガッパ学校2009 in 田川」開校

平成21年6月6日（土）田川市の高柳堰付近で「タガッパ学校」が『たがわふるさと川づくり交流会』主催で開催されました。

タガッパ学校とは、子どもたちにカヌーや水質調査、水生生物調査を体験してもらい、彦山川の河川環境を体で感じ、将来、魅力ある彦山川になるよう行動できる大人を育成することを目的に、平成16年度より開催しています。

当日は、遠賀川河川事務所田川出張所・田川市・田川土木事務所・福岡県田川保健福祉環境事務所の皆さんの協力で、田川市の児童30人が、川の調査やカヌー乗りに挑戦しました。川の調査では、水質調査や水生生物を採取して、水のきれいを調べました。結果は、高柳堰の下流の川は少し汚い水でした。また、学んだ後はみんなで河川敷の清掃を行いました。



開校式



水質検査



水生生物を見つけて



魚もっています



投網を使って



調べ中



調査の結果は



カヌーに乗って



記念写真です

# 第15回 I LOVE 遠賀川流域住民交流会inひびき

平成21年6月14日（日）芦屋町競艇場（夢リアホール）で「第15回 I LOVE 遠賀川流域住民交流会 in ひびき」がひびき青年会議所とNPO法人遠賀川流域住民の会が連携して開催。



あいさつされた浦克稔  
日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会会長

この活動の輪を広め、流域住民の連携を深めようと、毎年「I LOVE 遠賀川流域住民交流会」を遠賀川流域住民の会が開催。現在は、約80団体が遠賀川の河川環境の向上に向けて日々活動しています。今年度は、ひびき青年会議所と連携して「第37回福岡ブロック会員大会」として「つながりよう連携の輪」をテーマにパネルディスカッションが

22年前、飯塚市で「遠賀川にやさしさと恩返しを！」という思いからはじまった市民の清掃活動「I LOVE 遠賀川」は、その後、流域各地で河川敷のボランティア清掃、きれいな水を生み出すための源流域への植樹、下流域でのゴミ拾いなどの活動が行なわれてきました。



パネルディスカッションの様子

行なわれました。冒頭、浦克稔日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会会長は「遠賀川は九州の一级河川の中でも水質状況は悪いのですが、流域の約80団体のみなさんが遠賀川をきれいにしようと日々取り組まれています。遠賀川流域の青年会議所（五団体）も今後、遠賀川の再生に向けて積極的に流域の河川愛護団体と連携して取り組みたい」とあいさつされました。会場には家族連れも多く参加され報告者の話に熱心に聴き入っていました。

## パネラーの皆さんの意見や

### 呼びかけ

森裕治氏

（源流の森づくり推進会議）

「現在の子ども達は自然とふれあう機会が少なくなり、山の問題やその仕組みを実感としてわかせることができないのでは、もっと子ども達が自然とふれる機会を増やすことが大切。」

大久保琢磨氏

（ひこさんがわ夢の会）

「次世代を担う子ども達と一緒に考え取り組んでいくことが大切として、地元の中学校の生徒とともに、清掃活動や河川環境問題に取り組んでいる。」

澤田憲孝氏

（宮若川づくり交流会）

「地域の投棄ゴミを片付ける活動からはじまったが、住民の意識を高め、ゴミを捨てさせない環境づくりが大切。」

中村恭子氏

（堀川再生の会・五平太）

「どぶ川となった堀川に昨年ポンプで水を流し、川に五平太舟を浮かべる記念試乗会を行い、23年ぶりに堀川に水が入った。駅前が堀川の上にある折尾駅を起点に新たな夢や未来図を描いている。」

松岡朝生氏

（NPO法人遠賀川流域住民の会）

「遠賀川の下流の河口堰や芦屋海岸に梅雨が明けるとたくさんのゴミが溜まる。海岸に集まったゴミを流域住民みんなで取り除こうと、「芦屋海岸クリーンキャンペーン」を今年も9月13日（日）に実施する。」

ルー大柴氏（コメンテーター）

（タレント）

「皆さん一生懸命に取り組まれ、行動を積み重ねて川はきれいになっている。今後、上流のゴミを下流に流れつかないようにする方法を考えることも大切ではないか。」

三原卓朗氏（コーディネーター）

（社）ひびき青年会議所

「環境保護や街づくりは皆さんが興味を持つことで違ってくる。将来の子ども達が今より暮らしにくくならないように私たちが関心を持つて一人ひとりが考えていただく契機になればと思う。」

流域に住む人々の想いや活動、一人一人のできる範囲での取り組みで遠賀川はきれいになっていきます。

# 7月24日から7月26日の遠賀川の出水状況(速報版)

7月24日～7月26日にかけて梅雨前線の活発化に伴い、遠賀川流域の降水量は、24日朝からの総降雨量が500ミリを超える観測所もあり、平成15年7月19日飯塚市や直方市で甚大な被害をもたらせた出水を超えるものでした。今回の出水では2観測所(唐熊(遠賀川下流)、野面(笹尾川))で計画高水位を超え、4観測所(唐熊、宮田橋(犬鳴川)、野面、木月(西川))にて過去最高の水位を記録しました。遠賀川河川事務所は24日から26日にかけて排水ポンプ車4台を感田地区(直方市)、宮田地区(宮若市)、学頭地区(飯塚市)、新入地区(直方市)、夏峰地区(直方市)に設置し、浸水被害の軽減を図りました。堤防の一部が崩壊(堤防の土がはがれたり、護岸が崩れたり)した箇所が見つかったため、緊急災害復旧工事を実施しました。

いつ今回のような集中豪雨が發生するかわかりません。下記サイト「川の防災情報」より遠賀川流域だけでなく全国の水位情報・流域の雨量・気象情報などを簡単に入手できます。「遠賀川流域だより9号」の4面でも携帯電話やインターネットによる雨量・水位情報、大雨・洪水警報等のリアルタイムでの確認方法を紹介しています。自主的な避難・防災情報として是非ご活用ください。



日の出橋(25日1時頃撮影)  
橋の下から約3.5mの位置まで  
遠賀川の水位が上昇しました。



直方雨量観測所では7月24日  
17-20時の3時間で154mmの雨  
(過去最高)を記録しました。  
(直方駅前商店街の様子24日 20時頃)



遠賀川河川事務所では出水(洪水)時に、水位情報の発信や河川巡視・点検等の実施、排水機場などの施設稼働状況確認、被害情報収集などを行っています。

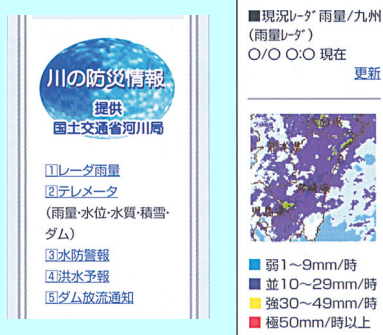
## (川の防災情報)

携帯電話でリアルタイム  
情報が確認できます

<http://i.river.go.jp/>



QRコード



## 平成21年度河川情報モニターの皆様



読者の皆様も河川に関して気になる事等ありましたら遠賀川河川事務所までご連絡下さい

① 河川に関する情報を、受ける住民の立場から再点検していただきます。

② 河川の防災と愛護の心を広める橋渡し役になつていただきます。

③ 洪水時に身近な川の状況を河川管理者に報告していただきます。

さらに災害に強く、安心して親しむことのできる川づくりを目指し、「河川情報モニター」として、遠賀川河川事務所より地域住民代表19名の方へ委嘱しています。

## 遠賀川流域だより 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 0948-22-3535

<http://www.ongagawa.jp/>